

目次

- 2024年度高圧ガス容器全国一斉特別回収結果報告 1
- 2025年賀詞交歓会開催 3
- 2025年賀詞交歓会開催(地域本部) 4
- 特集：カーボンニュートラルな社会への挑戦
—“We enable a carbon neutral world” グループの製品・技術を通じて世界の
GHG削減に貢献—(日本酸素ホールディングス株式会社／大陽日酸株式会社) .. 6
- HyTReC見学研修実施 9
- 令和7年兵庫県災害時における医療機関向け医療ガス等の供給に関する
防災訓練 10
- 令和6年度山口県、鳥取県、岡山県 災害時医薬品等供給(情報伝達連絡)訓練 .. 11
- 賛助会員 —エア・ウォーター・エンジニアリング株式会社— 12
- 令和7年度高圧ガス保安活動促進週間～キャッチコピー募集のご案内～ 14
- ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2024年12月15日～2025年2月15日掲載— ... 15
- 気ままにコラム 17



2024年度高圧ガス容器全国一斉特別回収結果報告

2024年10月1日～10月31日に全溶連およびJIMGA会員企業の皆様にご協力いただき、長期停滞容器、放置容器、不明容器について37,461か所を訪問し回収した結果を報告いたします。

回収本数は38,683本で、そのうち長期停滞容器が37,675本、放置容器が513本、不明容器が495本でした。

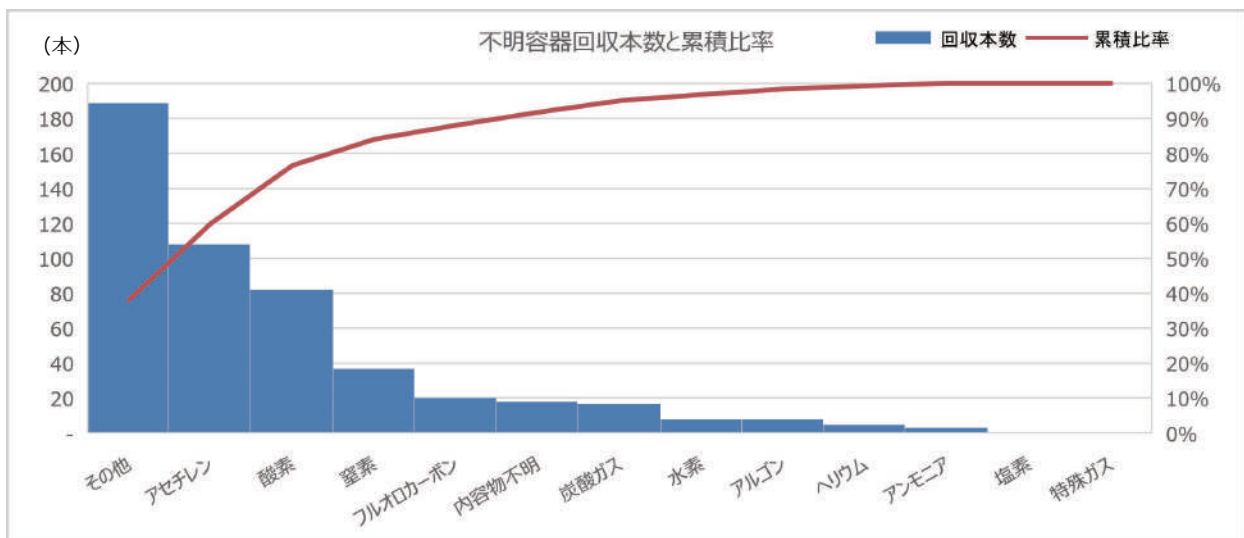
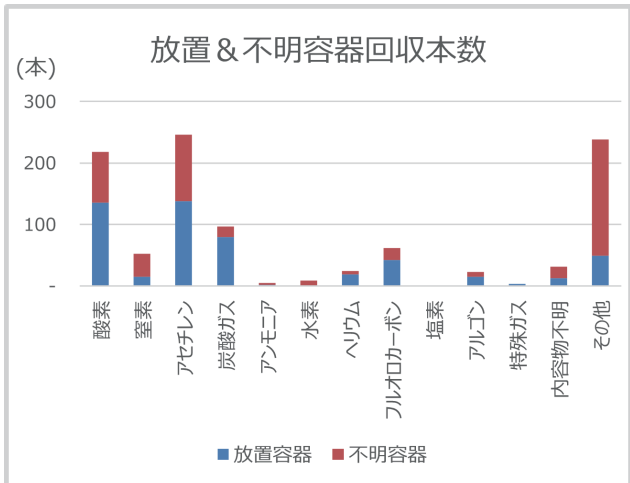
ガス種別の内訳、回収場所、エリア別回収本数および2010年度からの年度別回収本数は以下のとおりです。



1. ガス種別集計

(本)

| | 放置容器 | 不明容器 | 放置 & 不明 |
|----------|------|------|---------|
| 酸素 | 136 | 82 | 218 |
| 窒素 | 15 | 37 | 52 |
| アセチレン | 138 | 108 | 246 |
| 炭酸ガス | 80 | 17 | 97 |
| アンモニア | 2 | 3 | 5 |
| 水素 | 1 | 8 | 9 |
| ヘリウム | 19 | 5 | 24 |
| フルオロカーボン | 42 | 20 | 62 |
| 塩素 | - | - | - |
| アルゴン | 15 | 8 | 23 |
| 特殊ガス | 3 | - | 3 |
| 内容物不明 | 13 | 18 | 31 |
| その他 | 49 | 189 | 238 |
| 計 | 513 | 495 | 1,008 |



2. 不明容器 ガス種別回収場所

(本)

| 回収場所 | 解体・建設現場 | 河川・山林 | | 公道・公園 | | 湾岸・海岸 | | 容器置場 (消費者) | | 容器置場 (ガス業者) | | その他 (駐車場他) | | 合計 | 10L 以下 容器 | |
|-----------------|-----------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|---------------|------------|----------------|-----------|---------------|------------|------------|-----------------|-----------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酸素 | 15 | 3 | - | - | - | 47 | 4 | 13 | 82 | 22 | | | | | | |
| 窒素 | 2 | - | - | - | - | 15 | 15 | 5 | 37 | 2 | | | | | | |
| アセチレン | 29 | 9 | - | - | - | 47 | 7 | 16 | 108 | 25 | | | | | | |
| 炭酸ガス | 2 | - | - | - | - | 13 | - | 2 | 17 | 11 | | | | | | |
| アンモニア | 1 | - | - | - | - | - | 2 | - | 3 | - | | | | | | |
| 水素 | 5 | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | 8 | - | | | | | | |
| ヘリウム | - | - | - | - | - | 4 | - | 1 | 5 | 1 | | | | | | |
| フルオロカーボン | 1 | - | - | - | 8 | 8 | 1 | 2 | 20 | 2 | | | | | | |
| 塩素 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | | | |
| アルゴン | - | - | - | - | - | 8 | - | - | 8 | 4 | | | | | | |
| 特殊ガス | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | | | |
| ガス名不明 | - | - | - | 5 | 12 | - | 1 | 18 | - | - | | | | | | |
| その他 | 13 | 1 | - | 2 | 28 | 4 | 141 | 189 | 27 | - | | | | | | |
| 2024年度合計 | 68 | 14% | 13 | 3% | 0 | 0% | 15 | 3% | 183 | 37% | 34 | 7% | 182 | 37% | 495 | 94 |
| 2023年度合計 | 137 | 29% | 18 | 4% | 1 | 0% | 18 | 4% | 231 | 48% | 36 | 8% | 37 | 8% | 478 | 179 |
| 2022年度合計 | 133 | 32% | 1 | 0% | 1 | 0% | 17 | 4% | 222 | 54% | 10 | 2% | 30 | 7% | 414 | 154 |
| 2021年度合計 | 89 | 15% | 22 | 4% | 0 | 0% | 28 | 5% | 397 | 65% | 40 | 7% | 32 | 5% | 608 | 172 |
| 2020年度合計 | 83 | 13% | 15 | 2% | 2 | 0% | 3 | 0% | 424 | 66% | 50 | 8% | 68 | 11% | 645 | 202 |
| 2019年度合計 | 72 | 13% | 15 | 3% | 3 | 1% | 17 | 3% | 297 | 55% | 72 | 13% | 63 | 12% | 539 | 136 |
| 2018年度合計 | 163 | 29% | 26 | 5% | 13 | 2% | 22 | 4% | 225 | 40% | 87 | 15% | 33 | 6% | 569 | 125 |
| 2017年度合計 | 195 | 25% | 36 | 5% | 7 | 1% | 26 | 3% | 339 | 43% | 89 | 11% | 89 | 11% | 781 | 193 |
| 2016年度合計 | 209 | 23% | 49 | 5% | 14 | 2% | 18 | 2% | 330 | 37% | 205 | 23% | 76 | 8% | 901 | 188 |
| 2015年度合計 | 104 | 23% | 11 | 2% | 3 | 1% | 22 | 5% | 211 | 46% | 45 | 10% | 58 | 13% | 454 | 106 |

3. エリア別回収本数

(本)

| 都道府県 | 放置+不明 | | | 長停容器 | | | 不明のみ | | |
|------|--------|--------|------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| | 2024年度 | 2023年度 | 前年比 | 2024年度 | 2023年度 | 前年比 | 2024年度 | 2023年度 | 前年比 |
| 北海道 | 132 | 23 | 109 | 1,470 | 1,497 | -27 | 132 | 16 | 116 |
| 東北 計 | 27 | 12 | 15 | 1,707 | 1,664 | 43 | 1 | 1 | 0 |
| 関東 計 | 173 | 290 | -117 | 13,678 | 5,347 | 8,331 | 81 | 210 | -129 |
| 北陸 計 | 11 | 14 | -3 | 394 | 312 | 82 | 2 | 0 | 2 |
| 東海 計 | 28 | 39 | -11 | 5,661 | 4,100 | 1,561 | 10 | 8 | 2 |
| 近畿 計 | 435 | 450 | -15 | 2,187 | 2,385 | -198 | 151 | 122 | 29 |
| 中国 計 | 52 | 87 | -35 | 1,947 | 1,651 | 296 | 14 | 71 | -57 |
| 四国 計 | 94 | 64 | 30 | 2,494 | 1,333 | 1,161 | 69 | 39 | 30 |
| 九州 計 | 56 | 24 | 32 | 8,137 | 5,454 | 2,683 | 35 | 11 | 24 |
| 合計 | 1,008 | 1,003 | 5 | 37,675 | 23,743 | 13,932 | 495 | 478 | 17 |

4. 年度別放置及び不明容器回収本数

| | 放置及び不明 | 不明のみ | 不明率 |
|--------|--------|------|-------|
| 2010年度 | 1,806 | 513 | 28.4% |
| 2011年度 | 1,634 | 525 | 32.1% |
| 2012年度 | 1,778 | 522 | 29.4% |
| 2013年度 | 1,592 | 403 | 25.3% |
| 2014年度 | 1,394 | 387 | 27.8% |
| 2015年度 | 1,528 | 454 | 29.7% |
| 2016年度 | 2,878 | 901 | 31.3% |
| 2017年度 | 1,410 | 781 | 55.4% |
| 2018年度 | 2,297 | 569 | 24.8% |
| 2019年度 | 1,736 | 539 | 31.0% |
| 2020年度 | 1,870 | 645 | 34.5% |
| 2021年度 | 1,291 | 608 | 47.1% |
| 2022年度 | 1,113 | 414 | 37.2% |
| 2023年度 | 1,003 | 478 | 47.7% |
| 2024年度 | 1,008 | 495 | 49.1% |
| 平均 | 1,623 | 549 | 33.8% |

詳しくは下記もご覧ください。
 ▽ 放置容器を発見したときは
https://www.jimga.or.jp/business/houchi_youki/



(企画・事業グループ 事務局 山本 卓也)

2025年賀詞交歓会開催

1月14日、経団連会館にて2025年賀詞交歓会を開催しました。昨年とほぼ同様の約260名の皆様にご出席をいただきました。また、来賓として経済産業省、厚生労働省、特別民間法人高圧ガス保安協会など関連団体の皆様にご出席いただき、盛況のうちに閉会しました。ご出席いただきました皆様には心より御礼申し上げます。



会場の様子

会長挨拶および来賓のご挨拶についてはJIMGAウェブサイトに掲載しています。

◎ 賀詞交歓会挨拶の詳細はこちらをご覧ください↓

https://www.jimga.or.jp/files/news/jimga/20250124_gashikoukankai.pdf

(運営グループ 事務局)



2025年賀詞交歓会開催(地域本部)

一 関東地域本部一

名 称：2025年新年賀詞交歓会
 開催日：2025年1月30日 17:00～18:30
 会 場：芝パークホテル
 参加人数：約110名

内 容：関東地域本部では多くの皆様にお集まりいただき、
 2025年新年賀詞交歓会を開催しました。岩澤地域本部長の開会挨拶、本部来賓の上原会長の来賓挨拶に続いて、村山地域副本部長の乾杯挨拶により開宴となりました。和やかに会が進み、武地域副本部長の中締め挨拶と三本締めをもってお開きとなりました。



岩澤地域本部長による開会挨拶

一 東海地域本部一

名 称：令和7年新春賀詞交歓会
 開催日時：2025年1月6日 17:00～18:30
 会 場：ANAクラウンプラザ ホテルグランコート名古屋
 参加人数：約350名
 主 催：東海高圧ガス溶材組合連合会
 内 容：令和7年新春賀詞交歓会が盛大に行われ、来賓として JIMGA 東海地域本部の飯田副本部長が祝辞を述べました。



飯田副本部長による祝辞

一 北陸地域本部一

名 称：令和7年新年互礼会
 開催日：2025年1月10日 16:00～18:00
 会 場：ANAクラウンプラザホテル金沢
 参加人数：116名
 内 容：北陸高圧ガス溶材組合と合同にて開催しました。



中村本部長挨拶

昨年は1月1日に発生した令和6年能登半島地震の影響を鑑み中止としたため、2年ぶりの開催となりましたが、本年は多くの関係者が出席され盛大な催しとなりました。

一 近畿地域本部一

名 称：令和7年新年交礼会
 開催日：1月7日 18:30～20:15
 会 場：スイスホテル南海大阪
 参加人数：259名



大井本部長による開会挨拶

内容：近畿地域本部は、大阪高压ガス熔材協同組合との共催により新年交礼会を開催しました。多くの来賓、関係者が出席し、JIMGA近畿地域本部大井本部長による開会挨拶、経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部安田保安課長による来賓祝辞、高压ガス保安協会近畿支部原田事務局長による乾杯で始まり、大阪高压ガス熔材協同組合廣瀬理事長の中締めにより盛況のうちに閉会となりました。

—中国地域本部—

名称：令和7年中国地区高压ガス関係団体合同新春互礼会

開催日：1月8日 11:00～13:00

会場：ANAクラウンプラザ広島

参加人数：約160名

主催：高压ガス保安協会 中国支部

共催：JIMGA中国地域本部、中国高压ガス容器管理委員会、中国地区高压ガス地域防災連（7団体）合会、中国地区LPガス協会連合会、中国冷凍設備保安協会連合会、（一社）日本コミュニティーガス協会中国支部、高压ガス保安協会中国支部協賛会

内容：高压ガス保安協会の高妻中国支部長による主催者挨拶、中国四国産業保安監督部の小串部長ならびに広島県危機管理監の有馬課長から昨年の出来事と今年の抱負を交えた来賓の祝辞が述べられました。その後、中国地区LPガス協会連合会の床西会長による乾杯で開会し、JIMGA中国地域本部の楠元本部長による中締めで和やかに閉会しました。



KHK中国支部協賛会 高妻会長

—九州地域本部—

名称：2025年九州高压ガス三団体賀詞交歓会

開催日：1月7日 13:00～14:30

会場：WITH THE STYLE FUKUOKA（ウィズ・ザ・スタイル・フクオカ）

参加人数：210名

内容：恒例の九州高压ガス三団体による賀詞交歓会を開催しました。本年も来賓・報道を含む多くの方に出席いただき、新年の幕開けをお祝いしました。来賓10名の紹介、古賀地域本部長による主催者挨拶、来賓を代表して経済産業省九州産業保安監督部の齊藤部長の挨拶、2024年度高压ガス表彰者の紹介に続き、九州高压ガス容器管理委員会の佐藤会長（JIMGA九州地域副本部長）の乾杯挨拶で和やかな懇親会となりました。JIMGA九州地域本部の宮嶋副本部長の締めをもって盛会のうちにお開きとなりました。



古賀地域本部長による主催者挨拶

JIMGAでは、運営方針の一つに「カーボンニュートラルな社会への挑戦」を掲げ、業界全体としてカーボンニュートラルの実現を目指しています。本号では、会員企業各社の脱炭素化に向けた取り組みをご紹介します「特集：カーボンニュートラルな社会への挑戦」（第3回）をお届けします。※本特集に記事掲載をご希望の場合は、JIMGA広報までご連絡ください。

“We enable a carbon neutral world” グループの製品・技術を通じて世界のGHG削減に貢献

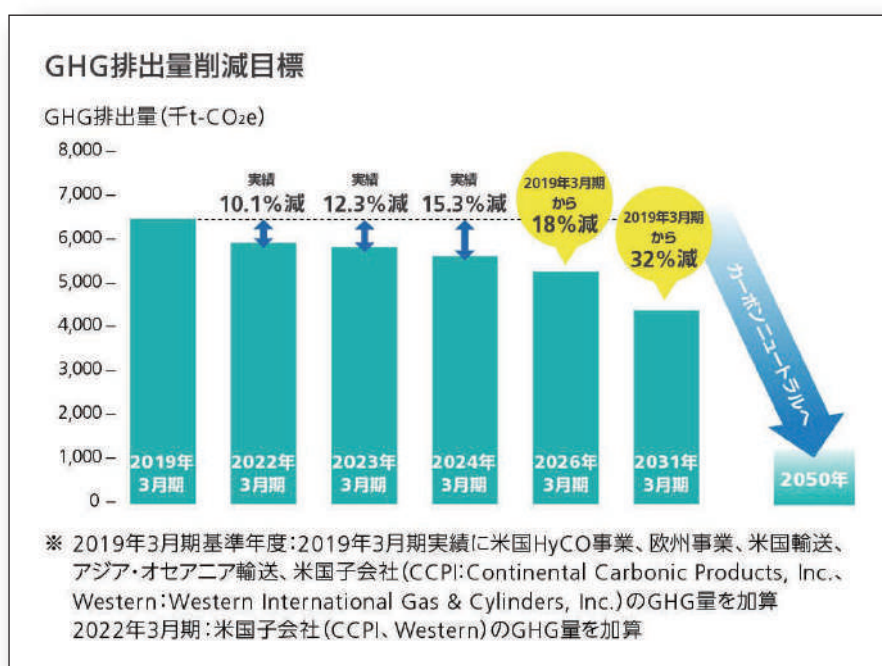
～日本酸素ホールディングス株式会社／大陽日酸株式会社～

日本酸素ホールディングス（NSHD）グループでは、2050年にカーボンニュートラル（CN）社会の実現をめざす取り組みとして、8つの非財務プログラム(*)の中で、自社で排出するGHG削減を目標とした「Carbon Neutral Program I（以下、CNP I）」、お客さまへ環境貢献製商品や機器、サービスなどのソリューションを提供することにより世界のGHG削減への貢献をめざす「Carbon Neutral Program II（以下、CNP II）」を掲げています。

CNP I とCNP II を両輪で進めることにより、自社内のGHG削減はもとより、NSHDグループの製品・技術を通じて世界のGHG削減に貢献していきます。

※(*)8つの非財務プログラム：詳細はこちらhttps://www.nipponsanso-hd.co.jp/sustainability/8non_financial_programs/

CNP I では、NSHDグループのGHG排出量削減目標として、2019年3月比で、2026年3月期に18%削減、2031年3月期に32%削減を掲げています。



GHG排出量削減目標

また、CNP II では2026年3月期までに環境貢献製商品によりNSHDグループのGHG排出量を上回るお客さまのGHG削減貢献量を計上する目標に取り組んでいます。

◇◇ 太陽日酸の取り組み ◇◇

太陽日酸では、NSHDグループでの目標に対し、空気分離装置のリプレースや太陽光発電の導入などにより、CNP I を進めています。また、お客様のGHG排出量削減に向けた製商品、技術の開発、提案を進めるため、2021年10月に工業ガスユニットに「カーボンニュートラルビジネスプロジェクト(CNBPJ)」を立ち上げました。

現在同プロジェクトでは、CO₂を「減らす」「使う」「貯める」の観点でお客様への対応や個別の案件に取り組んでいます。

| 環境貢献製商品の一例 | |
|---------------------------|--|
| 製商品及びサービス | 概要 |
| 燃焼式排ガス処理装置 | 半導体製造装置などから排出される地球温暖化ガスを無害化する装置です。 |
| SF ₆ 回収・精製サービス | 高電圧の絶縁ガスなどに用いられるSF ₆ を回収・破壊するサービスです。 |
| 新冷媒 | GWP(地球温暖化係数)の低い冷媒に置き換える新冷媒の拡販を行っています。 |
| エムジーシールド | 溶融マグネシウム合金カパーガスに用いられるSF ₆ を地球温暖化係数の低いエムジーシールドに置き換えます。 |
| SCOPE-JET® | 電炉における酸素富化燃焼により、電炉単体での操業と比較して電力使用量の削減が可能です。 |
| レーザー加工用PSA | これまで販売してきた一般的なPSAより、大幅に少ない電力量で窒素ガスの製造が可能です。 |
| サーモス製品 | 通常の鍋での調理をチャトルシェフに置き換えることで、燃料・電気などの削減が可能です。 |
| 水素ステーション | 当社の水素ステーションで充填したFCV車によりCO ₂ 排出量が削減できます。 |
| 工業ガス | |
| | 概要 |
| 高炉の酸素富化燃焼 | 高炉に酸素を安定供給することで、CO ₂ 発生量の低減に貢献しています。 |
| 電炉の酸素富化燃焼 | 電炉における酸素富化燃焼により、電炉単体での操業と比較して電力使用量の削減が可能です。 |
| Ar溶接 | CO ₂ 溶接と比較した場合、溶接時間の短縮、CO ₂ 排出量の低減が図れます。 |

環境貢献製商品の一例

1. CO₂を「減らす」ソリューション：酸素燃焼

1970年に海外からの酸素バーナの技術導入により始まった当社の酸素燃焼技術は、当初は工業炉での生産性向上、その後は省エネルギーや環境対策とその目的は大きく変遷してきました。太陽日酸では、様々な工業炉プロセスへ酸素燃焼技術を適用する技術開発を進めており、さらに水素やアンモニアなどのカーボンフリー燃料への対応も行っています。様々な産業の工業炉における空気燃焼を100%酸素燃焼に転換することを目指しています。

2. CO₂を回収して「使う」ソリューション：CO₂回収装置、ドライアイスブラスト装置

CO₂回収装置

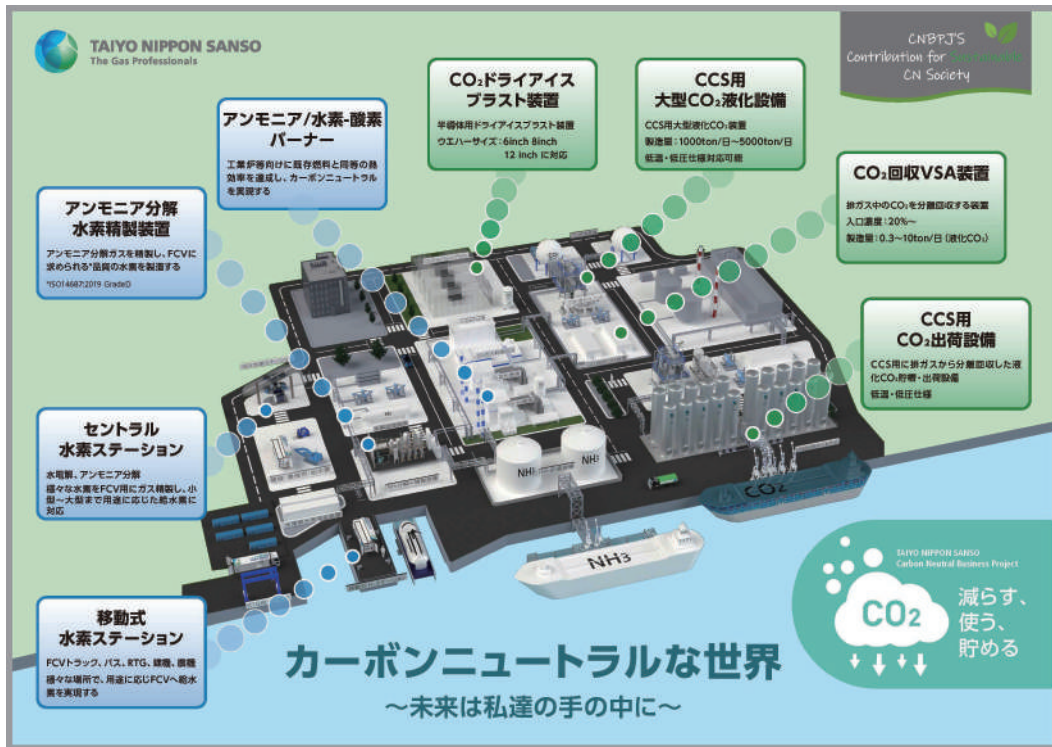
当社は、これまでバイオガス精製やN₂ PSA装置などで積み上げてきた知見・実績をもとに、高濃度（20%～60%）のCO₂排出源（主に空気とCO₂が混合された工業炉排ガス）から98%の濃度でCO₂を回収可能なVSA装置を開発しました。

CO₂ドライアイスブラスト装置

回収したCO₂を再利用する用途の一つとして、ドライアイスブラスト装置を扱っています。ドライアイスブラストは廃棄物の出ない、クリーンな洗浄技術でもあり、現在活況なエレクトロニクス・半導体市場に向けた新型装置の開発も行っています。

3. CO₂を「貯める」ソリューション：CCS用CO₂出荷タンク設備

工業ガス製品貯蔵タンクの製品ノウハウを活かし、CO₂分離回収／貯蔵・貯留（CCS）のバリューチェーン構築に欠かせないCCS用出荷タンク設備を開発しました。一般的な球形タンクと比べ、フットプリントの最小化、工期の大幅短縮化、省人化など、多くの優れた特長を提供します。



当社はこれまで、日本における研究・開発により、様々なソリューションを提案してまいりましたが、2050年のCN達成に向けては乗り越えるべき挑戦が続きます。NSHDグループには、CNが先行する欧州などの先進的な事業会社もあり、グローバルの知見も取り入れ、お客さまのサポートに使命感をもって取り組んでまいります。

ご参考：NSHDグループのカーボンニュートラルの取り組みを紹介するグローバルサイト
<https://www.carbonneutralworld.com/ja>



(大陽日酸株式会社 コーポレートユニット 広報部)

HyTReC見学研修実施

水素技術部会は、12月6日に見学研修会として福岡県糸島市にある、水素エネルギー製品研究試験センター（HyTReC）の試験施設を見学しました。

本センターは、Hydrogen Energy Test and Research Centerの頭文字からHyTReCと呼ばれており、水素関連製品の性能や信頼性を評価する第三者機関として、企業等の研究開発・製品試験を支援することにより、水素エネルギーの実用化、水素エネルギー新産業の育成を推進することを目的として2009年3月に設立された公益財団法人です。

福岡県の取り組みであるHy-Lifeプロジェクトの五本柱の一つ「水素エネルギー新産業の育成・集積」を推進するための中核的施設であり、中小・ベンチャー企業の水素エネルギー新産業への参入を支援する事業も行っています。

今回、見学させていただいたのは、試作品等の製品試験を実施する施設や設備です。超高圧環境下での耐久試験や破裂試験を行うため、安全対策として、地下ピットや耐爆カバー、防弾ガラスなどで安全が確保された施設です。

水素用の機器や容器に高圧をかけて試験を実施するための水や水素を高圧にするための設備や実際に試験を実施する設備などを見学させていただきました。

長尺容器に300MPa以上の水圧をかけて破裂させた容器や、その容器の破裂時に衝撃を緩衝させるために利用したマンガン鋼材が湾曲した残骸などを見せていただき、衝撃の大きさに驚愕しました。

部会委員の方々は水素への関心が高く、積極的に質問され、HyTReCの方々もお忙しい中、ご説明、質疑応答に親切丁寧に応じてくださいました。また、委員間の親睦を深めることもでき、大変有意義な研修見学会になりました。HyTReCの児玉副センター長をはじめスタッフの皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。

詳しくは、以下URLをご覧ください。

HyTReC 水素エネルギー製品研究試験センター：<https://www.hytrec.jp/>

(産業専門委員会 水素技術部会 事務局 田中 克幸)



HyTReC Hydrogen Energy Test and Research Center
水素エネルギー製品研究試験センター



見学研修の様子

令和7年兵庫県災害時における医療機関向け医療ガス等の供給に関する防災訓練

1月16日に兵庫県で「災害時における医療機関向け医療ガス等の供給に関する防災訓練」が実施されました。この訓練は兵庫県で毎年、兵庫県健康福祉部健康局薬務課とJIMGA近畿地域本部兵庫県支部が共同で実施しているものです。



【想定】

- ・1月16日(木)12:00紀伊半島沖を震源地とするマグニチュード8.0の東南海・南海地震が発生した。
- ・12:15現在、兵庫県への津波の危険性は低いが、兵庫県下の交通網（一般道路）は壊滅的な被害を受け麻痺状態であり、災害応急対策が円滑に行われるよう、即時に緊急交通路の指定が行われた。
- ・一方、兵庫県内の医療機関（**兵庫県災害医療センター**）では、地震の揺れの影響により、医療用酸素ガスを病棟内へ供給する医療ガス配管設備が損傷を受け、医療用酸素ガスの供給が不可能な状態に陥っている。
- ・**兵庫県災害医療センター**は一刻を争うことから、12:55兵庫県薬務課へ医療用酸素ガスの早期供給を依頼した。

【訓練内容】

- ・依頼を受けた兵庫県薬務課は、13:00 JIMGA兵庫県支部が立ち上げた災害対策本部を通じ、**兵庫県災害医療センター**への医療用酸素ガスの供給を依頼した。
- ・兵庫県薬務課より通報を受けた災害対策本部は、各地区代表会員へ受持ち会員への緊急通報を行うよう指示を出した。
- ・緊急通報を受けたJIMGA兵庫県支部会員は、事前に届出を行っている緊急通行車両標章を携行の上、緊急交通路を走行し兵庫県災害医療センターへ医療用酸素ガスの供給を開始し15:45兵庫県支部会員による医療用酸素ガス供給を完了した。

(近畿地域本部 事務局)



防災訓練の様子

令和6年度山口県、鳥取県、岡山県 災害時医薬品等供給（情報伝達連絡）訓練

令和6年度災害時医薬品等供給（情報伝達連絡）訓練が、山口県（1月16日）、鳥取県（1月17日）、岡山県（1月21日）で開催されました。

県薬務課の方々の他、協定書締結業者、団体等も参加して電話・FAX・メールでの情報のやり取りにて2時間程の訓練となりました。

当協会からは各支部長会社（山口支部／(株)平山商店、山陰支部／山陰酸素工業(株)、岡山支部／エア・ウォーター西日本(株)）の関係者もご参加いただき、緊急連絡体制の内容に則った手順で対応しました。

特に、山口県では今年度は物品の受け渡しまでを訓練内容としたため、配送業務を中国アセチレン(株)に対応していただき、物品（空容器にて）の配送、容器番号確認、物品の受け渡し、受領書の回収までを確実に実施し、訓練を滞りなく終わることができました。

このような訓練を定期的に行うことで、実際の時にも慌てず対応できると考えます。これからも実際に即した内容での継続的な取り組みを各県に期待いたします。

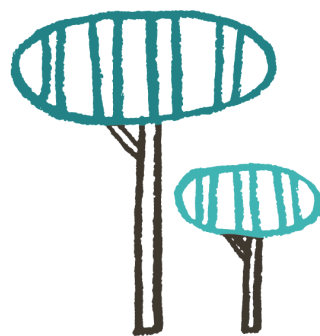
（中国地域本部 事務局）



物品積込の様子(山口県)



物品受渡の様子(山口県)



賛助会員 —エア・ウォーター・エンジニアリング株式会社—

沿革

弊社は、エア・ウォーター株式会社と株式会社神戸製鋼所のそれぞれの事業部門の合併で2004年に設立した「エア・ウォーター・クライオプラント株式会社」（JIMGAnews62号で紹介）と、「エア・ウォーター・プラントエンジニアリング株式会社」を2022年1月に統合し、エア・ウォーターグループのあらゆるエンジニアリングニーズに対応すべく2023年4月に「エア・ウォーター・エンジニアリング株式会社」に社名を変更し、エア・ウォーターの堺事業所を本社拠点として国内外へ総合エンジニアリングを提供し続けています。

事業について

液化窒素や液化酸素などを製造する、大型空気分離装置をはじめ、小型の高効率空気分離装置「VSU」、高純度窒素ガス発生装置「V1」、酸素ガス発生装置「V2」、窒素ガス・酸素ガス発生装置「V3」、PSA式酸素ガス発生装置「VPシステム」、水素ガス発生装置「VHR」などのVシリーズのほか、あらゆる産業ガス分離装置、ガス供給設備、超低温機器、産業ガス関連機器をラインナップし、お客様の利用シーンに応じた総合エンジニアリングを展開しています。設計、調達、プラント製造、建設（施工）、メンテナンス（供給した機器設備の維持管理等）を自社で行っており、一貫したエンジニアリング事業を展開しています。製造拠点は、大阪府堺市と福島県郡山市の2拠点があります。



VSU



V1



V3



VHR：水素ガス発生装置



PSA式酸素ガス発生装置

【これからの事業展望について】

弊社のSDGs目標を達成するために必須となるカーボンニュートラルへの取り組みは、JIMGAnews 第84号の特集記事「特集：カーボンニュートラルな社会への挑戦」にエア・ウォーターが寄稿している内容に沿っており、老朽化した産業ガス製造（空気分離）装置の更新による電力使用量の削減やCO₂回収装置、水素発生装置など、これまで培った技術を活かし社会に貢献すべく市場展開を継続しています。

産業ガスを必要とするお客様の環境変化が目まぐるしい中で、エア・ウォーターグループが目指す「社会のカーボンニュートラル化につながるビジネス構築」の一翼を担うべく活動すると共に、各種ガス発生装置の供給やリニューアル対応などを通してAI技術の浸透・発展に欠かせない半導体メーカーの良きパートナーとして、将来も「選んでいただける会社」を目指しています。

足元では、エア・ウォーターグループはインド・北米を重点地域とする海外展開や大手半導体デバイスメーカー向けのガス供給を基軸としたエレクトロニクス関連事業の拡大を進めており、各種ガス発生装置の需要増加が見込まれています。こうした中で、今般、堺の製缶工場の建物面積を拡張し、製造能力を約2倍とすることで、エア・ウォーターグループの海外展開や大手半導体デバイスメーカーの旺盛な生産増強、さらに装置の大型化にも対応できるエンジニアリング体制を構築します。また、これまで複数の拠点到分散していた産業ガスエンジニアリングの開発・設計・製作・運転・保守部門等を堺事業所に集約することで、小型から大型までのフルレンジで深冷空気分離や分離プラントの製作に対応できるエンジニアリング技術をさらに強化します。2025年4月より稼働開始する新事務所棟や新製缶工場のある「総合エンジニアリングセンター（仮称）」には、大阪府内の3カ所（堺市西区、大阪市中心区、大阪府福島区）に分散していたエンジニアリングに関連する部門を同拠点にすべて集約し、人員や技術・ノウハウの集積によりグループシナジーを追求するとともに、業務効率化や人材育成のスピードアップを図り、従業員の能力を最大限に発揮できる職場環境の整備を進めます。弊社は、その中心となる会社を目指してまいります。



ごみ焼却場の排ガスからCO₂を回収



CO₂回収装置

詳細は、エア・ウォーター万博特設サイト
URL <https://site.awi.co.jp/expo2025/> 参照

（エア・ウォーター・エンジニアリング株式会社

管理本部 人事総務部 岡 豊）

令和7年度高圧ガス保安活動促進週間～キャッチコピー募集のご案内～

高圧ガス保安協会より、高圧ガス保安活動促進週間（10月23日～29日）に向けたキャッチコピー募集のお知らせがありましたので、ご案内いたします。

【募集期間】

3月1日(土)～4月14日(月)

【採用作品等の発表】

高圧ガス誌および高圧ガス保安協会ホームページ

【賞品等】

- ・会長賞 1名 賞状及び賞金15万円
- ・入 選 若干名 賞状及び賞金3万円
- ・佳 作 若干名 賞状及び賞金1万円
- ・団体協力賞（法人単位で応募いただいた事業所が対象） 若干名 記念品

※会長賞の作品はポスターに採用するとともに、表彰者を高圧ガス保安全国大会（10月24日に東京で開催予定）にご招待し、表彰式において賞状等を授与いたします。



前回(令和6年度)ポスターデザイン

【応募方法】

専用の応募様式に必要事項を記入の上、【応募先】のメールアドレスへ送信ください。

【高圧ガス保安協会募集ページのURL】

https://www.khk.or.jp/public_information/public_introduction/catchphrase.html

【募集の詳細】

https://www.khk.or.jp/Portals/0/khk/edu/shuppan/2025/R7_copy_bosyu.pdf

【応募様式】

https://www.khk.or.jp/Portals/0/khk/edu/shuppan/2025/form_R7_recruiting_tagline.xlsx

【応募先】

以下へお送りください。

book@khk.or.jp

※詳しくは高圧ガス保安協会（上記メールアドレス）までお問合せください。

（企画・事業グループ 事務局）

ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2024年12月15日~2025年2月15日掲載—

JIMGAウェブサイトでは、会員の皆様に向けた最新の情報をお知らせページにて掲載しています。2024年12月15日~2025年2月15日までに掲載したお知らせをまとめましたので、URLよりご覧ください。最新のお知らせはこちら→ <https://www.jimga.or.jp/news/>



- 2025.02.12 「病院、診療所等の業務委託について」の一部改正について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1541>
- 2025.02.12 「医療法の一部を改正する法律の一部の施行について」の一部改正について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1540>
- 2025.02.07 【高圧ガス保安協会】令和7年度高圧ガス保安活動促進週間～キャッチコピー募集のご案内～
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1539>
- 2025.02.06 【気象庁連絡事項】2月4日からの強い冬型の気圧配置について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1538>
- 2025.02.05 【気象庁連絡事項】2月4日からの強い冬型の気圧配置について（第3報）
（大雪や猛ふぶき・吹きだまりによる交通障害、暴風や高波に警戒）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1537>
- 2025.02.04 【気象庁連絡事項】2月4日からの強い冬型の気圧配置について（第2報）
（大雪や猛ふぶき・吹きだまりによる交通障害、暴風や高波に警戒）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1536>
- 2025.02.03 【気象庁連絡事項】2月4日からの強い冬型の気圧配置について（第1報）
（大雪による交通障害、暴風・暴風雪、高波に警戒）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1535>
- 2025.01.31 販売品の価格改定について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1534>
- 2025.01.29 毒物及び劇物取締法の「よくあるご質問」（HP）の更新について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1533>
- 2025.01.24 2025年 賀詞交歓会のご報告
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1532>
- 2025.01.10 【気象庁連絡事項】1月10日にかけての強い冬型の気圧配置について（第3報）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1530>
- 2025.01.09 【気象庁連絡事項】1月10日にかけての強い冬型の気圧配置について（第2報）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1529>

- 2025.01.08 【気象庁連絡事項】1月10日頃にかけての強い冬型の気圧配置について(第1報)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1528>
- 2025.01.07 超低温液化ガス容器バルブの「開」「閉」に関する注意喚起について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1527>
- 2025.01.06 2025年 年頭のご挨拶
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1525>
- 2024.12.26 JIMGAnews 第85号発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1526>
- 2024.12.24 ラング・ウォーク (J-Breath主催) に参加しました
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1524>
- 2024.12.20 「在宅酸素火災予防キャンペーン」2024年度火災予防標語決定
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1523>
- 2024.12.18 令和6年度 化学物質管理強調月間実施について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1522>
- 2024.12.16 販売品の年内発送について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1521>



気ままに コラム

＜リズム運動とセロトニン＞
ランニングやウォーキングなどのリズム運動には、「幸せのホルモン」と呼ばれるセロトニンの分泌を促進し、ストレスを緩和する素晴らしい効果があります。かつて運動とは縁遠かった私が、今では北海道のマラソン大会に毎年参加する熱心なランナーに変貌を遂げました。この変化は、まさにリズム運動の魔法とも言えるでしょう。



北海道のマラソンシーズンは4月から11月と短いですが、その間に開催される大会はどれも魅力的です。伊達ハーフマラソン、ANA洞爺湖マラソン、千歳JAL国際マラソン、札幌ドームリレーマラソン、北海道マラソン、オホーツク網走マラソン、札幌ハーフマラソンが昨年出場した大会ですが、どの大会でも地域の絶景や郷土料理を堪能できます。

特に印象深いのは昨年初参加のオホーツク網走マラソンです。オホーツク海の青い海を眺めながら走り、各エイドステーションでカニ汁や網走和牛、帆立バター焼きなどの地元の味覚を楽しめました。私は記録よりも楽しむことを大切にしており、毎回かけがえのない思い出を作っています。

「走ることが楽しい」という感覚は、まさにセロトニンの効果だと実感しています。リズム運動は、美しい景色や美味しい食事、人との交流を通じて、心身の健康を促進する素晴らしい方法だと感じています。

私の経験から、リズム運動には以下のような長所があると言えます。

- ・ストレス解消：セロトニンの分泌により、心が穏やかになります。
- ・健康増進：体力向上や生活習慣病の予防に効果的です。
- ・新たな出会い：マラソン大会を通じて、多くの人と交流できます。
- ・地域の魅力再発見：普段気づかない地元の魅力を発見できます。
- ・自己成長：目標設定と達成を通じて、自信がつかます。

リズム運動は、単なる運動ではなく、人生を豊かにする素晴らしい活動です。皆さん

も、自分に合ったペースでリズム運動を始めてみませんか？きっと、新たな幸せと出会えるはずです。

(北海道地域本部
細坪 幸男)



能取岬をまわりオホーツク海を望むコース



網走刑務所製作
木彫りの完走メダル